

# 原ゆうじ市政報告 VOL.91

松戸市に関すること、困りごとのご相談はお気軽に！！

TEL 070-5540-9565 メールアドレス yuji.hara88@gmail.com

ブログも好評配信中！ 公式 HP:hara88.mobi 発行元:松戸市上本郷905



(原ゆうじのプロフィール)  
1965年松戸生まれ 上本郷小、松戸六中、立教高校、立教大学理学部化学科卒。長瀬産業(商社)勤務を経て家業のベーカリー店を継ぐ H22年市議初当選、現在、市議会議員4期目

松戸市議会議員、原ゆうじ市政レポート:税金の無駄遣いは許さない! 5年秋・冬号

## 松戸花火大会途中中止! なんで? 来年はどうなるのか?

関東最大級の(2万5千発)花火大会が途中で中止に!

これまで原ゆうじは花火大会について多くを提案。(有料席の設置、屋台・キッチンカーの導入、打ち上げ数の増加など)今回、その多くが実現となっただけに大変に残念でした。なぜ中止となったのか?チケットの払い戻しはどうなった?場所は古ヶ崎でいいのか?大会の費用は?詳しく報告します!

① 他の花火大会は開催なのになぜ松戸は中止となったのか?

↓(松戸市の見解公式 HP より抜粋)花火大会の開催結果について↓



打ち上げ開始時点の打ち上げ会場における平均風速は秒速 5m であったことから、午後 7 時 15 分に予定通り、花火の打ち上げを開始いたしました。

打ち上げ開始後、打ち上げ会場における風速・風向きを考慮しつつ打ち上げを継続しておりましたが、風速が大会実行委員会にて規定している中止の判断基準となる秒速 10m を超えた秒速 13m となり、また、風向きも観客席向きであったことから、関係機関との協議のうえ、安全な花火大会の継続が困難であると判断し、午後 8 時 23 分に花火大会の終了を決定いたしました。なお、あらかじめ市ホームページ等にてご案内しておりましたとおり、花火の打ち上げ開始後に途中で終了となったことから、有料観覧席のチケットにつきましては返金いたしかねます。

従来(松戸駅周辺&花火約1万発)と今回(古ヶ崎 G & 花火 25,000 発)との比較

### 令和元年の花火大会

会場の場所: 松戸駅周辺  
打ち上げ数: 約 10,000 発  
総事業費約 6400 万円  
内松戸市負担額: 4180 万円  
収入: 有料席販売約 500 万円  
協賛金約 1500 万円  
推定来場者数: 21 万人

松戸駅周辺→古ヶ崎 G 場所の変更!

現在、松戸駅が改装中であること。

打ち上げ数が増えたことで

より広い打ち上げ場所が必要

より多くの来場者が見込まれるため

など警備上の観点から場所を 2 駅利用可能な広い古ヶ崎グランドへしました。

便利な松戸駅周辺開催なら安全性の確保を! 古ヶ崎ならアクセス確保が必要です

### 令和5年の花火大会

会場の場所: 古ヶ崎グランド  
打ち上げ数: 約 25,000 発  
総事業費約 11,700 万円  
内松戸市負担額: 6780 万円  
収入: 有料席販売約 3500 万円  
協賛金約 1000 万円  
推定来場者数: 30.2 万人

原ゆうじの提案: 当面、古ヶ崎 G で開催ならば、打ち上げ数の維持! 来場者増! 秋の開催を!

今大会の途中中止については県の煙火基準通りの運用であり、妥当であったと思います。

ただ、途中中止の可能性や条件など、事前に知らせておく必要はあったと思います。

打ち上げ数について 松戸駅は R9 年までは改装予定のため、この間は安全性から広い古ヶ崎 G となります。ならば、関東最大級の花火打ち上げ数、約 2.5 万発を維持し、来場者増&消費増を目指すべきです。

開催時期の変更! 現在、来場者数の増加による安全への懸念から、他の大会と同日に開催していますが、警備人員の確保、熱中症対策が問題となっています。加えて今回のような夏の夜の天候急変へのリスク回避のためにも秋開催への変更を提案しました。原ゆうじは来場者増と観覧者の安全、その両立を目指します!!

# 千駄堀市立病院、開業以来病室44床未稼働！

## やっぱり病室数600床は過剰だった！？

### 思い出される13年前の現地建て替えの公約

13年前、本郷谷市長は、市立病院の現地建て替えを公約に市長に当選しましたがその内容は、上本郷の旧市立病院613床を450床に病床数を減らしての建て替え案でした。その理由は

- ① 当時、病床稼働率が70～80%であったこと。
- ② 市内民間3病院が増床して新築予定であったこと。
- ③ 国から入院日数短縮の方針が出ていたこと

以上から600床規模で建て替えをすれば、病床は過剰となり経営的にマイナス（赤字の増大）になるとの考えからでした。

### 結局600床で建設、総事業費は約260億円へ！

しかし、病院の医療従事者や議会から、450床への規模縮小への反発もあり、上本郷市立病院の現地建て替え案を市長は1年で断念、代替案として、現在の千駄堀での600床での建て替えを提案。激論の末、平成26年10月に決定しました。

しかし、決定まで長期化したため、当初計画で約128億円の建設費が約191億円に、道路改良費などを含む総事業費はなんと！約260億円にもなっていました。

費用の増額提案に対し議会は、病院側から出された計画値開業3年までに600床稼働&利用率90%を必ず達成するという付帯決議（条件）を付けて最終予算を承認しました。

### 上本郷市立病院の現地建て替え案

耐震性のない1号館のみを建て替え耐震性のある2～5号館は引き続き使用、建設費見込74億円とした。その際、1号館300床を150床に縮小し建て替え、全体の病床数を613床⇒450床にする案

### ↓開業以来44床未稼働の総合医療センター



## 44床未稼働なのに又20床の別棟建設！

今回、病院は来年3月末で東松戸病院の閉鎖に伴い同病院内の緩和ケア病棟20床を総合医療センターの敷地内にあらたに別棟を建設し、そこで継続させるとしています。しかし、様々な疑問、問題点が、、、

**問題点：開業以来44床の未稼働が発覚！ 別棟建設費22億3600万円**についての審議中、平成29年12月の開業以来、一度も使われていない未稼働の病床が44床あることが判明しました。

**疑問：なぜ、未稼働なのか？患者の需要はないのか？付帯決議についての見解は？**

→「需要はあるが、医師などのスタッフ不足により稼働が出来ていない。付帯決議は重く受け止めている」

**疑問：空いている病室があるのに、新たに病棟を建てる必要があるのか？**

→「未稼働の病床は、主にICU（集中治療室）やPICU（小児集中治療室）などである為、転用は出来ない」

## 600床稼働あきらめた？税金の無駄遣い！議案に反対！

今回の9月議会、総合医療センター敷地内に新たな別棟建設費用の増額補正予算（22億3600万円⇒25億6932万円へ）が審議され、賛成29人反対13人で可決となりましたが、原ゆうじは反対しました。

**原ゆうじの考え！**現在、医療センターが千葉県から認められている許可病床は600床です。

今回、新たに20床を追加するので、本来は620床への許可を申請しなければなりません、病院側はこれをせず、「まず600床稼働を目指し、達成後、620床にするか検討する」としています。

しかし、このことは少なくとも未稼働病床の内、20床は当面稼働させる気がないのと同じと思います！**議会も反対すべきでは？**600床の病院建設には約260億円もの公金が投入されましたが、この予算を決める際、議会は前述の付帯決議を条件に承認しています。今回、議案に賛成することは、600床稼働させないことを認めることと同じで、それは自らが付けた付帯決議をないがしろにするものと思わざるを得ません！今回の病院の未稼働問題！新たな別棟建設！税金の無駄遣いと言わざるを得ません！なぜ稼働できないのか？それは、人出の問題なのか、患者の需要がないのか？原ゆうじは、病院建設に多額の税金投入となってしまうことを決して忘れず、**今後も真相究明に取り組みます！**